



昔むかし修学旅行で広島の原爆ドームに行きました。資料館は気分が沈み、早々に外に出た記憶があります。歳を重ねると、知らなければいけない歴史だと思うようになります。まだ当時の語り部が居るうちに旅に出たいです。

戦争を体験していない人が多くなり、テレビなどで連日海外の争いを目にしても、自分の事とどちらえられてないような気がします。絶対に人が人を殺める事はあつてはならず、これからも戦争は悪でしてはならないと体験者や身内の方々から聞いた話などを次の世代に伝えていかなければならぬと思います。

むつ市
M・Aさん



私の祖父の弟は戦争に行き、18歳で戦死しました。遺骨は戻ることなく、写真だけがあります。学生だつた中での出征だつたそうです。写真を見るたびに生きてやりたかったことがたくさんあつただろうと想います。

ニュースで見る海外の争いでは亡くなつた人々も生きたかつたことでしょう。世界中の人々が平和な日々を過ごせることを願っています。

「終戦80年に想うこと」（すみませんテーマからはずれちゃいました）

戦争は体験していませんが、ウクライナとロシアの戦争は未だ終結せず、全然関係のない私からすれば話し合いで解決できやならないものなのか、相手国を想いながらお互いなものなののか妥協案としてみれば肥料など諸々関係なしだけど述べましたが、農家の一員として受けたことがあります。私の話はささいなことだけど、両国の国民の為も終わつてほしい。

太平洋戦争開戦の年に生をうけ、室蘭市では終戦直前まで毎日のように防空壕に父母と共に避難した経験は忘れられない幼い頃の記憶である。時が流れ、青森市に就職して大空襲の悲惨さを知り、戦争の恐ろしさ、空しさを改めて思ひ起こされ、今もつて脳裏から離れないことがない。そして現在も世界中（日本も含めて）で死の商人が平然と武器などを製造していくのだから戦争はいくら反対しても決して無くならない。核も含めて武器などを製造させないことが何よりも優先させなければならぬといふと考へる戦中派のひとりである。※死の商人：營利を目的として武器等を製造している職業のこと（大辞泉より）

龍溪先生集

10月のテーマは断捨離です。過去にも数回テーマとして取り扱い、リクエストがある人気のテーマです。今回は、みなさんが実施した断捨離の方法や断捨離をする際の心構え、断捨離の悩み（したいけどやり方がわからず、しようとは思うけどこうゆうところが不安など）といった断捨離に関する様々なことをぜひ教えて下さい。

氏名（よみがな）・組合員番号・掲載時のお名前を明記の上、ご応募ください。〆切は8月25日（消印有効）です。ご投稿お待ちしております。

10月号のテーマは

です。

トピックス



トピックスでは、この間の行われた取り組みの一部を掲載しています。
組合員活動についての最新情報や取り組みはホームページをご覧ください。

憲法カフェを開催しました。

6月30日（月）和徳店2階組合員集会室で、地域リーダー会主催の「憲法
カフェ戦後80年、一度も戦争しなかった国は日本を入れて8カ国しかありませ
ん！」を開催しました。

津軽9条の会齋藤厚事務局長を講師に、「現憲法はアメリカから押し付けられたものなの?」「憲法ってどんなもの?」「戦後80年、日本は戦争しなかったのはなぜ?」などの内容でお話をいただきました。日本が、戦後一度も戦争しなかったのは、憲法9条で戦争放棄をしていること、9条をもとに戦争になるような敵国を作らなかつたこと、また、戦争しない国を続けるには「希望は私たちの頑張りにある」ということが強調されました。

講演後は、手作りかぼちゃ餅の試食と交流を行いました。参加者は、試食しながら「かぼちゃ餅美味しいね!」とニコニコしながら、平和に関して思っていることなどを交流しました。

今後の予定、最新の各地域の取り組みはこちらからご確認できます。

